

平成20年2月27日

能代山本だより

第38号(観光振興課発行第14号)

久々の能代山本だよりです。ご無沙汰いたしまして申し訳ありません。

2月2日に渋谷シダックスホールで開催されました能代PR大使意見交換会並びに交流会にはたくさんの方にお集まりいただき、お会いできて大変嬉しかったです。

皆さんお変わりなく、お元気でいらしたのが何より良かったと思っています。

当日は市から市長が参加させていただき、皆様と意見交換会をさせていただきました。その概要につきましては、別紙にてお知らせいたします

特にお伝え、お願いしたいこと・・・

- ・新規の委嘱は、昨年から一時休止させていただいております。
- ・意見交換会並びに交流会の定期的な開催は、当分、見合わせます。
- ・能代港まつり花火大会(7/19)スポンサーのお願い(1口2万円以上:1マス付)
詳細につきましては欠席された方へ昨年の花火大会のプログラム等を同封しております。
- ・イベント日程は能代山本だよりで随時お知らせします。
その他、詳細につきましては、同封の概要をご覧ください。

イベント情報(確定分)

能代凧揚げ大会(第43回)	4月27日	能代凧保存会 会長 角谷さん 0185-52-1856
能代カップ高校選抜 バスケットボール大会	5月3日~5日	能代バスケットボール協会 0185-54-1449
中の申嫁見まつり	5月19日	日吉神社社務所 0185-54-1443
能代港まつり花火大会	7月19日	実行委員会(能代商工会議所) 0185-52-6341
2008おなごりフェスティバル in能代	9月13日	実行委員会(能代地域活性化協議会) 0185-54-6760

とっておき情報

「リゾートしらかみ」《くまげら編成》車輛展示会 in 上野駅

「リゾートしらかみ」車輛展示会

期日 3月8日(土)～9日(日)2日間

場所 上野駅13番線ホーム

内容 「リゾートしらかみ」《くまげら編成》の展示
五能線観光情報の発信(パネル・映像等)
世界自然遺産「白神山地」の情報発信
来場記念写真撮影コーナーの設置
JRオリジナル商品の販売など

『桜の北東北観光パネル展』(同時開催)

期日 3月3日(月)～9日(日)7日間

場所 上野駅 中央改札グランドコンコース

内容 秋田・青森・岩手の桜情報をパネルで紹介

PR大使【板倉敏さん】から

第33回 蒼樹展

能代PR大使の板倉敏さんが蒼樹会の会員です。ぜひ、ご覧下さい。

板倉さんが土、日は会場におります。

入場券なしでご覧いただけるようご配慮いただいておりますので、
受付でお声をかけてください。

平日、観覧希望の方は、

板倉さん【(自)03-3656-3893 (会)03-3656-3893】までご連絡下さい。

日時 2008年3月14日(金)～24日(月)

午前9時～午後4時

(ただし、最終日24日(月)は午後2時まで)

場所 上野公演 東京都美術館

情報

12/12～2/26まで

イベント

3尺玉、大玉50連発呼び物 能代港まつり花火大会

1月29日に開催された能代港まつり花火大会企画委員会(委員長・広幡信悦能代商工会議所会頭)で、7月19日開催予定の第6回能代港まつり花火大会について協議しました。呼び物は東北でも珍しい3尺玉の打ち上げと、大玉50連発の速射などの新趣向。誘客拡大では大会PRのポスターを早めに作るほか、観覧マス席では花火大会弁当の“花卉”など何らかの付加価値を付けた特別席の検討や、先行販売するインターネットチケットに特典を付けることを確認しました。

組織見直し新体制に 能代地域活性化協

能代地域活性化協議会合同幹事会が2月21日開かれ、新会長に能代青年会議所シニアクラブ理事の塚本真木夫氏(57)を選任するなど役員が決まりました。また、昨年の同協議会で提言されたおなごりフェスティバル継続に伴う組織見直しを受けて、経済波及効果やさまざまな団体を網羅することを狙いに相談役の新設や各業界から常任幹事を新任するなど組織体制を了承、併せておなごりフェスだけでなくまちづくりなどの活性化事業へ取り組んでいくことを確認しました。

観光関係

開所から半年、利用は順調 あきた白神体験センター

八峰町八森の宿泊型の自然体験活動拠点施設「あきた白神体験センター」は、昨年7月のオープンから半年が過ぎました。12月末までの半年間での利用は、個人・団体合わせて5845人で、順調に推移しています。一般が全体の40%で、利用の中心と見込んでいた小中・高校生の38%を上回りました。県内外別では、県内が85%を占め、県外は15%でした。

4年連続で採算割れ あきた北空港

県大館能代空港管理事務所が、昨年の空港利用状況をまとめ、利用総数は13万人余と昨年の14万人台を割り込み、ピークの15年に比べて3万人も落ち込みました。減少は4年連続で、搭乗率は58.7%と4年連続で採算ラインとされる60%を下回りました。同空港は今年7月18日で開港から10年の節目を迎えます。利用者数は提供座席減の影響が大きいとはいえ、航空各社の経営が厳しさを増す中で、利用拡大が大きな課題となっています。

岳岱に8566人足運び 白神山地遺産地域

環境省東北地方環境事務所のまとめによると、昨年5月から11月の白神山地世界遺産地域の入山者数は7万5393人でした。秋田県側の二ツ森、小岳、岳岱(8566人)、真瀬岳4計測地点では1万2559人で全体の16.7%を占めた。岳岱は全13地点では2番目の入山者数でした。

「花嫁道中」今年も 能代観光協会

能代観光協会(山木雄三会長)の「花嫁道中」検討会が2月19日開かれ、5月19日に行われる日吉神社の「嫁見まつり」に合わせ、花嫁道中を昨年に続き柳町で実施することを確認したほか、花嫁を主役とした催しも今後検討することにしました。特色ある祭典として全国的に知られる日吉神社の嫁見まつりをより盛り上げ、観光振興につなげようと、参拝を終えた花嫁が柳町通りを練り歩く花嫁道中を昨年同協会として昨年からはじめています。

「NBC」で能代を全国発信

インターネット事業を展開する有限会社白神ネットサービス(能代市畠町)が、オンラインショップ「能代バスケットボール専門店NBC」を2月27日にオープンします。全国的に知名度が高い能代のバスケットボールを生かし、バスケグッズの販売などを通してより多くの人に発信しようというもので、バスケイベント「能代カップ」への誘客のほか、新たな能代のPR商品づくりなどにもつなげたい考えです。

食

「ロールパン」「あんパン」売り出す

能代市二ツ井町小繋の農産物直売所「きみまち杉(さん)ちょくん」で2月2日、県のセカンドライフ農業応援事業を活用し、地場産の紫いもと米粉が原材料の「ロールパン」と「あんパン」を売り出しました。紫いもの色とコメの甘みを一緒に楽しめるパンで、「コメの消費拡大につなげるためにも、多くの人に食べてもらいたい」と話しています。

自然

風の松原を守る市民ボランティア大会は5月11日

能代市の風の松原ボランティア協議会(清水安雄会長)の実行委員会は1月17日、「風の松原を守る市民ボランティア大会」の5月11日開催を盛り込んだ20年度事業計画案を取りまとめ、2月下旬予定の総会に提出することを決めました。また、枯松の枝の片付けだけでなく、伐倒後の「空き地」に松の苗木を補植する活動も関係機関と調整しながら検討していくことを了承しました。

オジロワシ迫力の飛翔 米代川河口に

能代市の米代川河口付近に1月21日、オジロワシが姿を現しました。ユーラシア大陸から越冬のため日本にやってくるのですが、能代山本で目にすることができる機会は多くなく、翼を広げると2メートルにも達するという迫力ある姿とのことです。北海道では繁殖もしているがその個体数は少なく、環境省の絶滅危惧種にも指定されています。

青森側の入山者増に危惧 白神山地核心地域

東北森林管理局の白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）が1月25日開かれ、巡視員は同局や県に白神山地の入山者のし尿対策、展望台の改善などを要望したほか、青森県側の核心地域への入山者が多いことを問題提起しました。

峨瓏の滝ライトアップ 氷の宝石輝く

藤里町滝の沢の峨瓏の滝が2月9日からライトアップされて、暗闇の中でブルーに照らされた氷の滝が訪れた人に厳しい真冬ならではの表情を見せています。ライトアップされた滝はクリスタルな輝きを放ち、神秘的なムードも漂わせ、まるで氷の宝石のような冬の夜にしか見ることができない別世界を楽しむことができます。（～2月12日まででしたので、来年にお見知り置きを・・・です。）

厳寒の造形物美しく 八峰町の白瀑

寒波の影響で、八峰町八森の白瀑神社裏手にある滝の一部が凍り、自然が織りなす「白い造形物」が幻想的な雰囲気醸し出しています。滝は落差が17メートルあり、水は二手に分かれて流れ落ちます。滝の氷結は例年1～2月にかけてみられる光景ですが、最近は暖冬の影響で氷結期間が短くなっているとのことです。（こちら来年の冬のお楽しみですね。）

スポーツ

バスケ男子を能代で IH誘致求め要望

23年に北東北3県で開かれる全国高校総体（インターハイ）のバスケットボール競技男子の能代市開催を誘致しようと、市と市体育協会（松谷福三会長）が1月15日、県高体連の競技専門部と県バスケットボール協会に要望書を手渡し、開催実現を求めました。「国体の感動を再び味わい、バスケで能代に関心を持ってもらいたい」との要望に、同競技部、同協会側は理解を示しながらも、宿泊場所の確保や男女が分散開催となることに伴う運営上の問題から難色を示したとのことです。

能代山本から5人選出 都道府県対抗Jrバスケ

3月に東京体育館（東京都・渋谷区）で行われる第21回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会の本県選抜メンバーが決まり、能代山本から男子に中村正也（琴丘2年）、女子に稲場紗友里（山本2年）、桧森彩花（八竜2年）、石井みなみ、藤田千穂（二ツ井2年）の5人の選手が選ばれました。能代山本から5人同時に選出されたのは初めてです。

行政関係

新「二ツ井小」校舎は秋田杉、白壁で

22年度供用開始を目指す二ツ井統合小学校の基本設計がまとまりました。校舎・体育館の内外装に秋田杉など地域材を活用するほか、白壁、切り妻屋根を用い落ち着いたイメージの外観とし、渡り廊下を兼ねた「交流広場」や、白神山地など周囲を眺望できるスペース、表情の異なる中庭、屋外通路「コミセ通り」など子どもたちの多様な学習活動や遊びをサポートするようになっていきます。概算建設工事費は約20億5300万円（外溝工事等除く）と試算しています。

市民の借金 1人34万円 能代市

市で18年度普通会計の貸借対照表(バランスシート)を作成しました。市の資産総額は794億4123万2千円で、前年度比1.12%減少した一方、負債合計は293億5700万2千円で1.62%増。社会資本負担比率は69.83%で0.18ポイントダウンし、有形固定資産の整備に要した経費のうち次世代が負担する比率が若干増加しました。市民1人当たりの実質的な借金は34万1914円で、2546円減少しました。

中心市街地活性化ビジョン策定/能代市

能代市中心市街地活性化ビジョンを策定しました。「元気実感 のしる 街ぐらし」を将来像に掲げ、JR能代駅、ジャスコ能代店、能代北高、バスステーション付近を東西南北とする半径約500メートルの円内(約80ヘクタール)を活性化重点区域に設定、高齢者、環境、健康をこだわりの視点として13の施策を盛り込みました。「街なか」再生実現へ、中長期的な方向性を示したビジョンの求心力を高め、第2ステップとして20年度中に策定する中心市街地活性化計画で具現性を確実にしていく方針です。

5階建て3棟に 住吉町住宅建て替え

能代市は、市営住吉町住宅建て替え基本計画を策定しました。市営住宅の建て替えは初めてで、整備目標戸数は現在より42戸増の150戸とし、5階建て3棟の住宅棟をイメージし、母子生活支援施設を併設する計画です。全体工期年数にもよりますが、26年度末までには建設を終えるスケジュールで、概算事業費は35億円前後を見込んでいます。市直営事業ではなく民活導入を前提とした計画で、今年度内に民活導入可能性調査を終えますが、実現すれば初のケースとなる一方、「木都能代」らしさの具現化として多層階木質系耐火構造の検討もあり、流動的な要素を残しています。

議会関係

イオン問題 特別委は否決 能代市議会

能代市臨時議会が2月6日開会し、仮称・イオン新能代ショッピングセンター(SC)出店の賛否を問う住民投票条例案が上程されました。住民投票条例審査特別委員会(原田悦子委員長)で審査、採決した結果、委員長を除く委員11人のうち賛成5人、反対6人で、否決すべきものと決しました。

イオン賛否、住民投票否決/能代市議会

2月8日能代市臨時議会本会議で、仮称・イオン新能代ショッピングセンター出店の賛否を問う住民投票条例制定案の採決が行われ、賛成少数で否決しました。議長を除く27人のうち、賛成11人、反対16人。

その他

能代で固体モーター地上燃焼試験

宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究本部が12月17日、能代市浅内の能代多目的実験場で、衛星やロケット打ち上げの推進力となる固体モーター地上燃焼試験を実施し、燃焼時に機体にかかる振動や、燃料推進薬の燃焼速度のデータを取得しました。

JAXAが能代で固体モーター地上燃焼

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が12月22日、能代市浅内の能代多目的実験場で、ロケット打ち上げの推進力となる固体モーターの地上燃焼試験を実施しました。試験は17日に続いて2回目で、今回も固体モーターは正常に燃焼、良質な燃焼速度データと音響環境計測データ取得に成功しました。

倒産、負債総額は10年間で最大 19年

民間の信用調査機関の東京商工リサーチ秋田支店がまとめた19年の県内企業倒産状況（負債総額1000万円以上、内整理を含む）によると、能代山本は11件で、前年を4件下回り、沈静化傾向であったものの、負債総額はゴルフ場の大型倒産があったため69億7700万円と過去10年では最大でした。

映画「コドモのコドモ」冬編撮影終了

能代市内で撮影が進められていた映画「コドモのコドモ」（萩生田宏治監督）が1月25日クランクアップしました。8月末から1カ月間の「夏編」、1月10日から2週間余にわたった「冬編」と撮影が順調に進み、初のオール能代ロケ映画は今後、編集作業を経て4月中旬に完成、今秋の公開を予定しています。

候補作品4点に絞る 市民歌選考

能代市市民歌歌詞選考小委員会（武藤昭治委員長）が2月15日開かれ、1次選考を通過した12作品から採用候補作品4点を絞り込みました。22日の市民歌制定検討委員会へ報告され、3月下旬に候補を選考する予定です。能代市民歌の歌詞は、昨年12月1日から今年1月20日（消印有効）まで公募し、全国33都道府県から133作品が寄せられました。このうち能代市内からの応募は15点、能代市を除く県内は9点でした。

内陸木材団地に誘致企業 城東テクノ

能代市河戸川の能代木材工業団地（内陸部）で今春、住宅用部材製造業の城東テクノ（本社・大阪府枚方市、資本金2億8200万円、末久泰朗代表取締役社長）の秋田工場が操業を開始します。同社が県立大木材高度加工研究所と共同開発してきた木粉と熱硬化性樹脂を原料にした住宅外壁耐熱下地材の製造工場として設置するもので、すでに同団地内の旧秋木機械の施設を取得して、4月操業に向けて準備を進めています。

お知らせ

能代観光協会ブログ「能代でらっと情報」

能代山本地区の最新的话题を毎日、ブログで発信しています。

お近くのパソコンでぜひご覧ください。

能代でらっと情報URL http://blog.livedoor.jp/noshiro_kanko/

能代PR大使のみなさんの近況や身近な話題、気が付いたことなど遠慮なくお知らせください。

ファクシミリ	0185-89-1776
電話番号	0185-89-2179
Eメール	kankou@city.noshiro.akita.jp